

平成30年度第3回館林市子ども・子育て会議 会議録概要

1 日 時 平成31年3月20日（水）午後1時30分～3時00分

2 場 所 市役所5階501会議室

3 出席者

【館林市子ども・子育て会議委員】 12名

森会長、永井副会長、大谷委員、角田委員、倉上委員、荻野委員、鎌田委員、荒川委員、飯塚委員、阪田委員、平林委員、田端委員（以上名簿順）

【事務局】 15名

保健福祉部：中里部長

こども福祉課：石崎課長、妻神子育て支援係長、萩本保育係長、恩田主任、砂賀

児童センター：鏡所長

健康推進課：野澤課長、武政母子保健係長

教育総務課：鈴木課長、武井総括係長

学校教育課長：上村課長、山口学事係長

生涯学習課：石井課長、加藤青少年係長

【委託業者】

株式会社ワイズマンコンサルティング 山口研究員

【傍聴者】 なし

4 議 事

(1)館林市子育て支援ニーズ調査結果（速報）について

(2)その他

5 配布資料

- ・会議次第
- ・子育てに関するアンケート調査票（就学前、小学生）
- ・調査結果（速報値）概要版
- ・新・放課後子ども総合プランによる放課後児童クラブの学校利用について

6 会議内容（概要）

1. 開 会
2. あいさつ

3. 議 事

(1) 館林市子育て支援ニーズ調査結果（速報）について

- ・事務局、委託業者より説明

【質疑応答等】

委 員：32 ページの子育て支援センターを利用していますかという設問に対して、8 割の方が利用していない。また、今は利用していないが今後利用したいかという設問に対して、7 割の方が、新たに利用したり利用日数を増やしたりしたいと思っていないと回答しているのにも関わらず、60 ページで子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしいが 7 割以上というのは、納得がいかない。子育て支援センターを利用している人が少ないことに驚いている。

委 員：59 ページの館林市の子育て支援や環境の総合的な満足度で、満足と答えた方より不満足と答えた方の割合が高い。また、34 ページの各種事業の利用状況について「いいえ」の回答が多いことがショックである。

委 員：児童館等のイベントのタイミングが就労している方とあっていない。イベントは午前中に集中していて、家事等やっているうちに午後を迎えている方もいる。

会 長：遊ぶ場やイベントなどがあってもそれを知らない方も多い。

委 員：子育て支援センターを利用したことがあるがママ友同士でグループがあり、利用しにくいことがある。行きたいけど一歩踏み出すのが難しい方もいる。

委 員：周りからは太田市のぐんまこどもの国のような遊び場を作してほしいという要望が多い。あっても有料ではなく、市内の方は無料という形が良い。スタンプラリーもやっていると思うが、館林市が PR したい内容でスタンプラリーを作って、子どもや保護者が市の事業やイベントについて認識してもらえれば良いのでは。例えば、四小のコミュニティースクールや今館林市がプッシュしている「たてラ」など。また、58 ページのように子どもの見守りについてのニーズも多くなっている。私が住んでいる大島町の方でも、地域のお年寄りの方々に農作業をしながら下校時の見守りをお願いしたいと地元の会議で話が出る。そしたら、先日、教育委員会から「ながら見守りボランティア」に協力してくださいというチラシが配布された。チラシ配布だけではボランティアは増えないので、今後どのように増やしていくかが課題と思う。

委 員：この取り組み自体は、四小と九小の地域が必要と感じて見守り活動が始まった。教育委員会が出した「ながら見守り」も同じ考えで、農作業をしながら、犬の散歩をしながら見守るという素晴らしい発想と思う。

委 員：南保育園の周辺でも見守りをやっていたらいい。13 ページの(6)気軽に相談できる人について、親族、知人、保育士が多くなっている。最近は親族と離れて過ごしている方も多いため、相談できない方も多い。そういったときにママ友など

の身の回りの友人などの関わりが重要となる。

委員：保育園に預けている人と預けていない人に不平等感が生まれつつある。どうしても預けることに注視しがちだが、預けていない人への支援に目を向けていただきたい。

会長：杉並区などでは、クーポン制度を取り入れている。県内では渋川市で実績がある。
委員：幼稚園の預かり保育のニーズも出てきている。現状では幼稚園が利用者の半数が利用してる。相談体制についても、最近はお母さん同士の付き合いもできていない人も多い。

委員：館林市らしい回答だと感じた。私の子どもも子育て支援センターを利用している。協働のまちづくりについて、身の回りで協力できることをやっていきたい。

委員：ボランティア活動について、96 ページ「家族や地域からの要望や機会があれば協力していきたい」などの回答が多くなっているが、いざとなるとやる人がいない。色々な仕組みがあっても利用されていない。97 ページの子育て環境の満足度について、⑨の放課後児童対策が他と比べて不満の割合が多い。ヒントは 85～87 ページにある。利用料に対しての不満が多いことが分かる。63 ページの居住地データからピンポイントで分かってしまう。学童についての利用料や満足度などに地域ごとのクロス集計も必要。

委員：最近では就労している母親が多くなっている。各事業やイベントがあっても午前中が多い。27 ページのように親同士が話す場や相談できる場、遊べる場を増やしてほしい。

委員：北幼稚園の評議員を 10 年間やっているが、北幼稚園のイベントや卒園などに参加させてもらっている。子どもの成長は一年間で大きいと感じている。

会長：これからクロス集計分析をし、詳細な結果、数値をもとに、来年度中に計画を策定する。来年度はこれまで以上に皆さんにお集まりいただく機会が増えるので、よろしくをお願いしたい。

(2)その他

- 認定こども園MINOYAについて
 - ・事務局より説明

- 新・放課後総合プランによる放課後児童クラブの学校利用について
 - ・事務局より説明

4. 閉 会